

◇入学おめでとう◇

満開の桜の花が咲きほこる中、第76回尾野見小学校入学式が行われました。今年度は、15人の新入生を迎え、とてもにぎやかなスタートとなりました。式の中で、新入生15人は担任の川畑先生に名前を呼ばれて「はい」と元気よく返事をし、堂々とあいさつをすることができました。どの子の表情も一年生になったんだという喜びと自信に溢れていました。また、式の間中、背筋をピンと伸ばし、話をする方をじっと見つめる姿にびっくりすると共に、大変感心しました。

御祝いの言葉の中で児童代表の増田京介さんが「わからないことは、何でもわたしたちに聞いてください。一緒に楽しい尾野見小学校にしましょう」と発表しました。

この入学式を行うために、5、6年生が掃除や会場づくり、新1年生の教室の準備を積極的に取り組みました。その姿は、春風のように爽やかで、すがすがしく、新しい尾野見小の仲間を迎える喜びと思いやりに満ちていました。



これから6年間、一生懸命に遊んで学んで心も体も大きく成長していきましょう。本校のキャッチフレーズ”おもいやり 花と緑の 尾野見小”のように、互いをおもいやり、個性の花がいっぱい咲きほこる尾野見小を目指しましょう。



◇千里の道も一歩から◇

本校では、週2回朝の活動の時間（8:25～8:35）に国語タイム・算数タイムを設けています。国語タイムは国語主任の野村教諭主導の下、昨年度から全学級で実施してきた100マス作文への取組です。今年度は、「書き慣れる」ことから「題材選択能力」の力をつけることを目標としています。昨年度は、何を書いてもOK、5分間で100字、途中まででもOK、題はなくてもOKというルールを設定し取り組みました。友達が書いたものを読み合っってよさを認め合う交流活動を取り入れることで、自信を持つとともに、書くことを楽しむ児童の育成に努めてきました。成果として、書くことの基礎体力（スピード、正確さ、意欲）の向上や基礎的・基本的学習内容の定着率アップがみられました。



また、算数タイムは次の2点を目標としています。

ア 学級や個に応じた問題に継続して取り組むことで、基礎基本を身に付け活用できる子どもを育てる。

イ 課題解決のために自ら意欲的に考え取り組む子どもを育てる。



今年度は、「3年生以上の学級に担任以外の職員も入り複数で個別指導の充実を図っています。」千里の道も一歩から”どんなに大きな計画も、小さな努力の積み重ねによって成し遂げられるという教えです。ちなみに、一里は約4kmなので、千里は約4000kmにもなりません。なんと！東京からモンゴルまでの距離になります。ふだんの学習の積み重ねが、学力を身に付ける一番の近道です。まず、第一歩、そして一歩一歩、少しずつ進んでいきましょう。

